

■介護職員の採用と定着「人間関係が鍵」 介護労働安定センター

▷介護労働実態調査の結果

・介護労働安定センターは、2023年度「介護労働実態調査」の結果を発表した。この調査は、約9,000事業所と勤務する労働者約2万人からの回答を基にしている。

●採用がうまくいっている理由

事業所に「採用がうまくいっている理由」を尋ねたところ、トップは「職場の人間関係がよいこと」で62.7%、次いで「残業が少ない、有給休暇をとりやすい、シフトがきつくないこと」が57.3%、「仕事と家庭（育児・介護）の両立の支援を充実させている」が47.9%となっている。

●労働者の就職理由と職場の取り組み

就職理由のトップは「通勤が便利だから」で50.3%。次いで「仕事の魅力ややりがいがあるため」が32.6%、「職場の人間関係がよいこと」が31.4%と続いた。また、職場の取り組みとして「ハラスメントのない人間関係のよい職場づくりをしている」が37.8%で最も多く挙げられた。

●離職理由

離職理由のトップは「職場の人間関係に問題があったため」で34.3%。具体的な状況としては、上司の思いやりのない言動、パワハラ（49.3%）、上司の管理能力が低い、信頼できない（43.2%）、同僚の言動によるストレス（38.8%）。

●採用率と離職率

- ・採用率：訪問介護員とその他の介護職員で16.9%（前年度比0.7ポイント増）
- ・離職率：13.1%（1.3ポイント減）※特に07年度以降、低下傾向。

その他の職種についての結果は、看護職員（採用率19.6%・離職率15.3%）、リハビリ専門職（採用率13.0%・離職率9.4%）、介護支援専門員（採用率10.4%・離職率10.0%）。

●月給と満足度

全職種の月給平均は24.1万円で、4年連続で増加している。職種別の平均月給は、看護職員（28.0万円）、リハビリ専門職（27.7万円）、介護支援専門員（25.1万円）、介護職員（22.6万円）、訪問介護員（22.3万円）となっている。賃金に対する満足度のDIはマイナス18.0ポイント。「30万～35万円未満」の層ではプラスに転じた。

※詳細は下記の資料をご参照ください。

令和5年度 介護労働実態調査結果

<https://www.kaigo-center.or.jp/report/jittai/>